



すくすく



附属小学校
生活部だより第5号
令和6年2月29日

子どもの姿で語る…第102回 愛媛教育研究大会

2月2日（金）に、第102回愛媛教育研究大会（幼稚園・小学校の部）を開催しました。昨年度に続き、参集型の研究大会が叶い、私たち教職員も熱い思いを持って準備に、授業実践にと、取り組んできました。まだまだ感染症等に注意が必要な状況でありながらも、全国各地から350人を超えるご参加をいただき、充実した大会となりました。

保護者の皆様には、当日の交通整理、湯茶の接待、来賓や役員の案内、記録写真の撮影など、様々な場面で大会を支えていただきました。また、愛媛附属小伝統の「おもてなし」の心も参加者にしっかりと届けていただきました。本当にありがとうございました。

さて、今期研究は、「子どもが創る『探究的な学び』をデザインする」をテーマとして研究を進めています。昨年度より、予測不可能な未来を生き抜く力を養うために、子どもたちが「自分たちこそが学びの主役である」という思いを持ち、目を輝かせて「探究的な学び」を経験できる単元・授業づくりに取り組んでいます。そして、今年度は特に、それぞれの学習活動の場面で子どもたちをどのように支えるかについて注力してきました。これらの研究の成果が、子どもたちの姿を通して、少しずつではありますがお見せすることができたのではないかと感じています。大会参加者が書いてくださったアンケートの中にも、次のような記述が見られます。

「子どもたちが生き生きと表現している」「子どもたちの学習に対する主体的な態度が素晴らしい」「豊かな言葉があふれている」「素晴らしい会に参加して大満足です」

また、「昼休みの合唱がすばらしかった。特に、嵐の「ふるさと」は、私の思い出もあって心が震えました」「受付で児童が気持ちのよいあいさつや案内をしてくれて嬉しかったです。ありがとうございました」「保護者の方々の雰囲気が温かくて、沖縄から参加した私にとっては低い気温でしたが、寒さを感じずに過ごすことができました。参加してよかったです。ありがとうございました」「ぜひ来年も参加したいです。本当に素晴らしい準備をありがとうございました」など、チーム愛媛附属小へのエールも…。

こうした声を励みにしながら、これからも、研究が子どもの喜びや成長につながるような研究としていくこと、そして生き生きと学ぶ子どもの「リアルな姿」で愛大附属小の研究を伝えられることを目指していきたいと思えます。今後とも、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（研究部長 岩城 聡恵）



委員会活動

給食の食器や牛乳パックの片付け。手洗い場の石けんの補充。うさぎたちの世話。これらの仕事は誰がしてくれているのでしょうか。

それは、委員会の5・6年生たちです。5・6年生は、一人一人が下記の10の委員会に所属し、日々の当番活動や、月1回の委員会活動の時間を通して、学校生活をよりよくしていくために活動しています。

<令和5年度 委員会活動>

放送委員会 環境委員会 保健委員会 運動委員会 生活委員会
音楽委員会 ボランティア委員会 図書委員会 給食委員会 集会委員会

集会を企画・実行したり、玄関の靴や傘を整頓したり、楽しい記事の新聞を作ったりと、各委員会の活動内容は様々で、子どもたちが協力しながら主体的に活動しています。5・6年生は、「自分たちが学校生活を支え、よりよくしているんだ」という自覚と責任感を持って、一生懸命取り組んでいます。

(生活部 河野 幹大)



なわとび集会

2月14日に上学年の部、15日に下学年の部が開かれました。子どもたちは、3学期になってから朝の時間や休み時間、体育の時間を使って一生懸命練習してきました。

集会当日は、同じ種目に何度も挑戦する姿や、合格して笑顔で輪ゴム（獲得ポイント）をもらう姿、次の場所に走って移動している姿などが見られました。両日ともいいお天気に恵まれ、額に汗を光らせながら夢中になってなわとびを楽しんでいました。

私は小学生の時、なわとびが大好きでした。なぜなら、練習した分だけ上手になっていくからです。上学年のお兄さんやお姉さんに二重跳びのこつを教えてもらい、一生懸命練習し、二重跳びができたときの嬉しさや達成感を今でも鮮明に覚えています。今年も、友達にこつを教えてもらったり自分なりにこつを見付けたりして、できなかった技ができるようになったときの、「やったー!」「できたー!」の輝く笑顔がたくさん見られました。今も昔も子どもたちの「もっとやりたい!」「もっと上手になりたい!」という気持ちは変わらないと思います。

なわとび練習に一生懸命取り組んだ経験が、体育学習以外でも生かさせていけたらと願っています。

(体育部 船田 みどり)



保健室・相談室 より



新型コロナウイルス感染症が5月から「5類感染症」になり、日常の生活が戻って来ています。今年度も学校保健活動・感染症対策にご協力いただきありがとうございました。

さて、今年度から保健室のメンバー（養護教諭・保健室支援員・スクールカウンセラー）が一新しました。1年間を終え、一言ずつ感じたことをお伝えします。

今年度も様々な附属っ子が保健室を来室しました。けがや病気の子どもはもちろんですが、噂の「池ポチャ」でびしょびしょになって来る子、相談をしに来る子、話をしに来る子、落とし物を探しに来る子、身長を測りに来る子、お茶を借りに来る子、本を読みに来る子、保健室のお手伝いをしに来る子、何となく保健室に来る子……。たくさんの附属っ子とかかわりました。毎日が新鮮で、驚きと笑いの1年間でした。

附属小には、心や体の健康に関心がある子どもがたくさんいます。関心があるからこそ、友達のことを気遣える子どもがたくさんおり、とても感心しました。これからも、その気遣いを忘れずにいてほしいと思います。一年間ありがとうございました。

（養護教諭 砂野 美和）

附属っ子の明るい挨拶や「元気になったよ!」「手当してくれたところ治ったよ!」といった声に、私はいつも元気もらっています。附属っ子には、友達が困っている時に手を差し伸べてあげられる思いやりの心や、自ら率先して行動しようとする力が育まれていると日々のかかわりの中で実感し、とても嬉しく感じています。

これからも、子どもたちが安心できる居場所づくりに努めながら、心身ともに健康で安全な学校生活を送ることができるようサポートして参ります。

（保健室支援員 児島 芽依）

昨年4月から週に一度来校させていただき、児童の皆さんとお顔を合わせる機会は大変貴重でしたが、お会いした際には笑顔であいさつをしてくれて、何事にも一生懸命取り組む姿や、頑張ったお話などを聴かせていただき、私自身も元気もらえた1年でした。

3学期も残り僅かとなり、もうすぐ春休みに入ります。新学期を迎えるにあたり、保護者の皆様もお忙しい日々を過ごされることと思いますが、お子さんと共に心身を労わっていただければと思います。

新学期もどうぞよろしくお願いいたします。

（スクールカウンセラー 高橋 寧々）

3月の相談日

7日、14日

13:00～17:00（毎週木曜日）

4月の相談日

18日、25日

予約専用電話：090-9451-9693

（ 切 り 取 り ）

子どもたちの様子等で、気付かれたことやぜひ紹介したいことがありましたら、学級担任までご提出ください。